



2024年11月14日

各位

会社名 CRGホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小田 康浩
(コード番号：7041 東証グロース)
問合せ先 経営企画部部长 福原 将之
(TEL.03-6302-0834)

**通期連結業績予想と実績値との差異、子会社における特別損失計上及び
繰延税金資産の取崩に関するお知らせ**

2024年8月14日に公表いたしました2024年9月期連結業績予想と、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年9月期連結業績予想と実績値の差異

(1) 2024年9月期 (2023年10月1日～2024年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|---------------|-----------|-----------|-------------------------|----------------|
| 前回予想 (A) | 百万円 17,000 | 百万円 55 | 百万円 15 | 百万円 △120 | 円 銭 △20.18 |
| 実績値 (B) | 17,090 | 90 | 44 | △369 | △67.11 |
| 増減額 (B-A) | 90 | 35 | 29 | △249 | △46.93 |
| 増減率 (%) | 0.5 | 63.9 | 194.2 | - | - |
| (ご参考) 前期実績 (2023年9月期) | 20,815 | 113 | 107 | 44 | 8.10 |

(2) 2024年9月期連結業績予想との差異の理由

2024年8月14日に公表した連結業績予想につきまして、主力のHR関連事業におけるコールセンター向け人材派遣にて、新型コロナウイルス感染症関連案件などの特需が一服したことに加え、大手顧客からの既存案件への派遣依頼が減少したことを主因とし、2024年8月14日に連結業績予想を下方修正しましたが、各種新規事業の売上寄与や経費の削減・効率化に努めたことで営業利益・経常利益は業績予想を上回る着地となりました。一方、拠点の統廃合などに係る店舗閉鎖損失を計上し繰延税金資産を取り崩しておりますが、早期の業績回復・企業価値の向上を図り、より一層のシナジー効果の創出を実現してまいります。また一部の投資有価証券の評価損を特別損失として計上したことにより、

純利益は業績予想を下回る結果となりました。

2. 特別損失の計上について

(1) 合併に伴う店舗閉鎖損失の計上

派遣先職種やサービス内容の拡充によるクロスセルの強化及び事業リスクの分散、成長事業への経営資源配分の最適化、派遣スタッフの集客力強化、共通費用の効率化を推し進めることを目的に、当社グループの人材派遣3社を合併することといたしました。早期の業績回復・企業価値の向上を図り、より一層のシナジー効果を創出するための判断となりますが、拠点の統廃合などに係る店舗閉鎖損失28百万円を特別損失として、連結財務諸表に計上いたしました。

(2) 連結決算における投資有価証券の減損損失及び売却損の計上

当社の連結子会社であるCRGインベストメント株式会社が保有する投資有価証券のうち、取得価額に比べて実質価額が著しく低下した株式について、減損処理による投資有価証券評価損75百万円及び売却による投資有価証券売却損38百万円を特別損失として、連結財務諸表に計上いたしました。

(3) 個別決算における子会社株式評価損の計上

上記連結子会社における投資有価証券評価損及び投資有価証券売却損の計上に伴い、当社が保有する当社子会社株式についても取得価額に比べて実質価額が著しく低下し、関係会社株式評価損として79百万円を個別財務諸表のみに計上いたしました。

当該関係会社株式評価損は個別財務諸表のみに計上されるものであり、連結財務諸表においては消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

(4) 業績に与える影響

上記(1)、(2)の特別損失につきましては、本日公表しております「2024年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

3. 繰延税金資産の取崩について

上記2.(1)、(3)の特別損失の計上に伴い、当期の実績及び今後の業績動向を総合的に勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産124百万円を取崩し、法人税等調整額を計上することといたしました。

以 上